

これからの道徳教育 学校・家庭・地域の連携を大切に

平成29年度道徳教育地区別協議会が行われました。

去る11月16日(木)に本校において、福島県教育委員会主催による道徳教育地区別推進協議会が行われました。

これは学校における道徳教育の充実と、教員・保護者・地域の方々が道徳教育について協議する場を設けることにより、学校及び家庭・地域と連携した道徳教育の推進を図るものです。

相双地区の先生方に授業公開

当日は、第1学年の道徳の授業公開があり相双地区の先生方が参観しました。

授業は「郷土に尽くした人々の気持ちと、自分がふるさとにできることは何かということを考える」内容でした。生徒は地域社会を築いてくれた高齢者の努力の上に、自分が存在するという自覚をもつことができました。



授業公開の様子、テーマに沿って話し合い、真剣に考える生徒

保護者、地域の方々も参加

午後からはPTA役員・学校評議員の皆さん、同窓会長さんに協議会に参加していただきました。相双地区の先生方と小グループに分かれ、「子ども達の豊かな心の育成を目指して～郷土愛を通して～」というテーマで話し合いをもちました。

道徳教育に対して、学校・家庭・地域がどのように関わっていけばよいか?参加された皆さんからは、普段から地域の振興や子ども達の成長について関わりを持たれていらっしゃる経験をもとに具体的で建設的なご意見をいただきました。



学校・家庭・地域の連携について熱心な協議が行われました。

福島大学教授

松下行則先生の講演も

協議会では福島大学教授 松下行則先生の講演も伺うことができました。道徳教育とふるさとの問題に視点をあてた内容でした。

日本は社会の激変により、世界史に類のない少子高齢化の時代を迎え、世界中が今後の日本の進路に注目していること、コンパクトで効率的な国づくり、地域づくりを進めていく必要があることなどが解説されました。

来たるべき状況に対応するため、どんな子ども達を育てるかについて、「諦めず、希望を見いだす子ども」「未知を楽しみ、課題を解決する子ども」「自分で人生を選択しデザインする子ども」など今後の教育を考える上で大きな示唆をいただきました。

花壇も冬の装いに・全校生で環境整備

校庭の花壇は秋の花も終わり、全校生による環境整備が行われ、冬の装いになりました。

例年この時期には、パンジーを植えています。黄色や赤、紫、白といった鮮やかな色が私たちの目を楽しませてくれます。

パンジーは氷点下の真冬でもじっと耐えて春にはまた、私たちの心を和ませます。進路実現に頑張る受験生の手本のようなのです。



花の苗を一つ一つ丁寧に植えていく生徒達。心がこもります。